

シルバーつちうら

会員数

男 327人

女 108人

合計 435人

平成25年1月1日現在

2013年(平成25年1月18日発行)

第56号

編集・発行 / 土浦市シルバー人材センター広報委員会

〒300-0052 茨城県土浦市東真鍋町2番5号 TEL 029(824)8281 / Fax 029(823)3007

ホームページ / <http://www.tsuchiura-sjc.jp/>



迎春

新年の挨拶



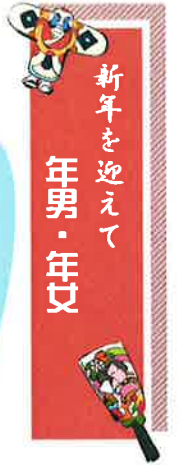
理事長 鹿島 清

新年明けましておめでとう御座います。皆様方におかれましては夫々、新しい年の希望、抱負を胸にお元気に新春を迎えられたことと拝察し衷心から御慶び申し上げます。

私達、土浦市シルバー人材センターも旧年四月以来、公益社団法人元年として名実ともに体制を一新してスタート致し、全員が夫々の分野で一致協力して各種施策、事業の計画的にして着実な推進に努め、恙無く新春を迎えることが出来ましたことは、偏に皆様ご一同の新しい法人会員としての自覚にもとづく不断的努力とチームワークの成果と、誇らしく思いつつ、改めて敬意を表する次第です。

さて皆さん、本年は公益社団法人として二年目を迎える年であり、前年新体制への移行最初の年として試行錯誤しつつ努力して得た各種の成果をふまえ、新たに具体化された諸課題に鋭意取り組み、さらなる活動基盤の強化を図る重要な年となります。私共を取り巻く環境情勢は依然として厳しさが見込まれますが、これに挫けることなく、この不透明な時代の中に安全と適正の灯を燈して今年も頑張ります。

結びに、本年の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



新年を迎えて

年男・年女

小さな幸せ

鈴木 實

新年を迎える都度今年こそはと心を



新たに持つように心掛けておりますが、一年が経過して見ると、毎年の如く変化の無い年に終わっています。さて今年の干支は巳年、六回目の年男を迎えますが、小生は第二次世界大戦開戦の三日前に生まれ、真に激動の時代に人生をスタートしたものです。その後、国を挙げて先人の血の滲むような努力により、様々な難局を乗り越え先進国の一員になることが出来ました。この日本の戦後の歴史が私達世代の歴史でもありました。幸いにも高度成長期にサラリーマン生活の殆どを過ごす事が出来、無事十年前に定年を迎える事が出来ました。定年後は、趣味を求めて陶器、小盆栽、木目込み人形等に挑戦しましたが成果はいま一つでした。そ



の一方で地域の福祉活動(児童・民生委員、さわやか委員)、町内会役員、シルバニア人材

センター役員等に参

加させて戴き、余暇の有効活用に努めて

きました。現在は三



年前に患った心臓バイパス手術の経過も良好で、週三回孫が通っている小学校の登下校時の立哨をしながら、グランドゴルフ、健康吹き矢に挑戦し多くの大会にも参加しお付き合いの輪を広めています。今年度の具体的な目標としては日本健康吹き矢協会の二段合格を目指して練習に励みたいと思っております。

高齢化が進めば進むほど隣近所、友人、仕事を通じての知人が必要となつてきます。大事にしたいものです。当シルバニア人材センターも公益社団法人としてスタートしましたが「自主自立、共働共助」の精神を胸に一人でも多くの会員、お客さんに接し共に健康で楽しい人生を過ごせるよう頑張りたいと思います。

新年を迎えて

川越 悦子



新年おめでとうございませう。六度目の年女で今回の原稿を書くことになりました。

平成十五年に土浦に来て、知る人もなく広報で知ったシルバニア人材センターに入会し、二級のホームヘルパーを受講させていただきました。

四中公民館にお世話

になり、清掃をしながら、毎週公民館に通つて来る人達が、自分の趣味にいきいきと活動するのを見て、私も参加を



考えていました。私も公民館講座に参加し、今は同好会に入りました。鉛筆画を講師の指導のもとに楽しい時間を過ごしております。日頃の生活で知り合うことの無い人々と絵を通して語り合うことのできる楽しさを味わっております。

残る人生の一日一日を大切に過ごしたいと思いますが、まず健康を維持してゆくために、歩くこと

も今の私にできる健康のための一つの

で、楽しく歩いていきたいです。歩きながら、草や木をいつか描くことを

夢見ています。



職場から

六中地区公民館

小林 繁美



私の職場は、六中地区公民館です。

建物は、市の花いっぱいコンテストで最優秀賞を受賞した美しい花々に囲まれた、素晴らしい環境の中にあります。親切に指導して下さる職員の方々に支えられながら、楽しく働いています。

仕事は、夜間や休館日の施設管理です。また、来館者に気持ちよく施設を利用していただく配慮も、大切な仕事だと思っています。勤務は一人なので、ちょっと不安なので私は点検個所を一覧表にしてチェックしています。利用するお客様は、皆さん元気



で熟年者が多いように感じること
もありますが、明るく活力があり
ます。いつも、その元気をもらい
ながら働いています。

施設は図書館、学習室、調理室
等々、目的に合った部屋があり、
各種講座の開催、学習成果の発
表・展示、同好会、福祉等の活動
及び情報の場所となっています。

だれもが気軽に利用
できる地域のコミュニ
ティセンターです。皆さ
んもよろしかったら散
歩がてらに、近くの公民
館へ立ち寄ってみてく
ださい。六中公民館には、現在六
名の会員が元気に働いています。



イトーヨーカ堂駐輪場

生畑 久



現在、イトーヨー
カ堂の駐輪場に勤
務しております。無料で一時預か
りです。六十台位駐められるスペ
ースがあつて回転しています。イ
トーヨーカ堂で買物をされる方、
ウララ広場のイベントに通われる
方、学生で勉強される方（生涯学

習センター）、医院に通われる方と
様々な方が利用されております。
自転車は手軽な乗り物ですが、主
に年配の方が多く様ですので、事
故につながる様・安心・安全
に努め、ひとこと声をかけるよう
にしています。楽しく買い物さ
れたり、用事にこられたのに、不
愉快な思いで帰ることは、来られ
た方に申し訳ない気持ちになりま
す。気持ちよく笑顔で帰れるよう
挨拶、接客対応に常に心がけてお
ります。

最近では、顔見知りになるお客様
も増えてきて、「御苦労様！」と声
をかけてくださる方もいます。た
かが自転車ですが、整理整頓した
り、掃除したり、挨拶をすること
が、人のお役に立っていると思っ
と、生き甲斐を感じます。私達の
住んでいる土浦は、これからどう
なっていくのか、今勤務している
イトーヨーカ堂が撤退したらどう
変わるのか、心に思うことはいっ
ぱいありますが、シルバー人材セ
ンターのお世話で働く機会を得た
ことに、とても感謝しています。
そして、お客様との対話を通し、

充実した日々を送っています。こ
れからも、心と体の健康に留意し
ながら、社会のお役に立つ人生を
歩んでいきたいと思えます。



交通量調査（に参加して）

竹廣 紀文



土浦市からの交通
量調査指定交差点
における、詳細な図解指示書に基
づき調査を実施。一時間単位で交
差点を通過する自動車（原付バイ
ク以上）の台数調査の仕事です。

計測指定交差点の形状で、十字
交差点（参加人員六名）の場合、
「二時間計測後一時間休憩」、T字
交差点（参加人員四名）の場合、
「一時間計測後一時間休憩」のパ
ターンで調査を進める。計測調査
時間中は、交差点に視線を集中し、
各方面から交差点に進入後、直
進・右折・左折と三方向に通り抜
ける車数をただひたすらカウンタ
ー器に進行方向（記号表示）別に

インプットする。

一時間の計測時間毎に、信号の
変わる空白時間のタイミングで通過
台数を記号表示に合わせ、時間欄
に正確に転記と必要に応じ信号の
変わる時間内で、次の計測担当者
と交替し、可及的速やかに計測体制
を整え、調査を切れ目なく継続、
終了時間まで黙々と繰り返す。

千束町交差点からスタートし、
最後の木田余東台交差点迄、三十
一箇所（参加延人数百六十九名）
の交通量調査を無事終了すること
ができました。

交通量調査の仕事を進めるに当
り、綿密な事前協議を担当された
センターの関係者と、調査現場の
日々の準備、まとめ役を担当され
た人達の段取りの良
さが、スムーズな仕
事の進捗となり、和
気あいあいとした雰
囲気で終了を迎える
ことが出来ました。
調査チームに参加し
た一人として、「ありがとうござい
ました」と、心からお礼申し上げ
ます。



新入会員紹介

(平成二十四年七月〜十二月)

一中地区

石居 一司 渡邊 元臣

桂川 信廣 富岡 勇

大塚 信子 田高 義和

笹 昌徳 早乙女 勇

関 正一郎 八木 泰俊

二中地区

野上 哲 佐中 絢子

倉田 倉三

三中地区

鈴木 義重 渡邊 征之

大城 睦男 相川 嘉子

上田 義信

四中地区

佐生 寿治 齊藤 昌彦

福井 武夫 岩井 人気

五中地区

久野 貞子 岸本まち子

竹俣 リツ

六中地区

橋本 弘 高橋 義房

横山 邦男 鈴木 豊

新治地区

坂井 章 柴原 明良

上川 隆也



事務局より

◇ボランティア活動報告◇

十月一日(月)赤い羽根共同募金へ参画し、土浦駅前にて街頭募金活動を行いました。(八名参加)募金活動は、土浦市シルバー人材センターのボランティア活動の一環として、例年率先して行っております。

※事務局にも募金箱を設置し、多くの会員さんからも募金を頂きました。

募金活動の様子



◇健康まつりへの参加◇

十月二十一日(日)土浦市健康まつり(於…土浦保健センター)にて、六名に参加頂き刃物研ぎ実演を行いました。例年同様、受付開始時間前より長蛇の列を作り、好評のうちに終わりました。

刃物研ぎ実演の様子



◇配分金支払い証明書について◇

(郵送した)配分金支払い証明書は、平成二十四年に就業して得た配分金に関する証明(書)となります。確定申告の必要な方は、当証明書を利用し、必ず申告するようお願い致します。

あとがき

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、一方ならぬご指導ならびにご協力いただき、有難うございました。皆様には本年も穏やかでよいお年で有りますよう、お祈り申し上げます。本年も会員皆様から、又センターからの情報を共有して、良きシルバー人材センターにしていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

(表紙の写真は、六中地区の町田行弘さんより提供頂きました。)

広報委員会

委員長 横田正弘

委員 市村勇治

小林繁美

小林利喜夫

